

奈良国立文化財研究所要項

I 事業概要

1 研究普及事業

公開講演会

- (1) 1981年5月30日 第49回公開講演会
「いわゆる忍冬唐草紋について——法隆寺式軒
平瓦の紋様を中心として——」 山本 忠尚
「近世大和における町人地の形成過程」
亀井 伸雄

- (2) 1981年11月7日
「古代造瓦技術に関する一考察」 大脇 潔
「古代の建造物修造技法」 岡田 英男

現地説明会

- (1) 1981年6月6日 平城宮跡第129次発掘調査
現地説明会 毛利光俊彦
- (2) 1981年8月8日 藤原宮跡第34次発掘調査現
地説明会 土肥 孝
- (3) 1981年8月22日 平城宮跡第132次発掘調査
現地説明会 山岸 常人
- (4) 1981年9月26日 檜隈寺講堂跡発掘調査現地
説明会 岡本 東三
- (5) 1981年10月17日 大宮大寺第8次発掘調査現

地説明会

- 井上 和人
- (6) 1981年11月14日 石神遺跡・水落遺跡発掘調
査現地説明会 西口 寿生
- (7) 1981年11月28日 平城宮跡第133次発掘調査
現地説明会 千田 剛道
- (8) 1982年2月20日 水落遺跡発掘調査現地説明
会 木下 正史
- (9) 1982年3月20日 平城宮跡第136次発掘調査
現地説明会 中村 友博

平城宮跡資料館・覆屋公開

- (1) 春季特別公開 1981年4月25日～5月5日
見学者 10,685名
- 秋季特別公開 1981年10月24日～11月8日
見学者 19,096名

(2) 見学者数

区分	資料館	覆屋	計
1981年	72,658	104,181	176,839
累計	438,885	820,956	1,256,841

※資料館は1970年度・覆屋は1968年度以降

2 1981年文部省科学研究費補助金による研究

種 別	研 究 課 題	研究代表者	交 付 額
特 定 研 究(1)	遺跡遺物の探査及び保存修復に関する研究	田 中 琢	12,000千円
一 般 研 究(A)	大和国荘園の復原的研究	木 全 敬 藏	800
一 般 研 究(B)	南都七大寺所用瓦の製作技法と瓦当紋様の研究	山 本 忠 尚	2,200
〃	英彦山宿坊庭園遺跡群の実証的研究	安 原 啓 示	3,500
一 般 研 究(C)	歴史時代木製遺物の集成的研究	金 子 裕 之	950
〃	飛鳥時代瓦陶兼業窯の研究	西 村 康 夫	850
〃	日本庭園の技術的系譜について—古代庭園遺跡を中心として—	田 中 哲 雄	1,050
〃	古代僧綱制度の基礎的研究	加 藤 優 一	910
奨 励 研 究(A)	日本所在の東欧先史文化に関する資料の基礎的研究	中 村 友 博	900
〃	中央官衙系瓦屋の再編過程に関する研究	上 原 真 人	850
〃	古代における羽釜形土器の系譜的研究	川 越 俊 一	700
〃	古代日本における木工製産の基礎的研究	井 上 和 人	600
〃	文化財保存における工学的手法の導入に関する研究	内 田 昭 人	910
〃	天台系御影堂の成立とその展開	山 岸 常 人	720
〃	近世在郷町の敷地計画に関する研究	亀 井 伸 雄	780
試 験 研 究(2)	航空写真の活用システムの開発	伊 東 太 作	4,930
計	16 件		32,650

3 飛鳥資料館の運営

展 示

第一展示室 常設展示

第二展示室 特別陳列「桓原の仏像」

(1981. 4. 21～1981. 5. 31)
 特別展示「山田寺展」
 (1981. 10. 7～1981. 11. 23)

普及

前年同様インフォメーションルームで観覧者の質問に応じている。また特別展示のカタログとして「樞原の仏像」及び「山田寺展」を刊行した。

入館者数(1981. 4. 1～1982. 3. 31 開館日数305日)

	普通観覧	団体観覧	有料	無料	合計
一般	42,107	22,273	170,848	8,709	179,557
高・大	16,248	31,704			
小・中	12,003	46,513			
計	70,358	100,490			

模造製作

山田寺金堂部分模型
 上宮聖徳法王帝説
 石造浮彫如来及両脇侍像

4 埋蔵文化財センターの研修・指導

研修 埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の研修を実施した。

- (1) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修
 (遺跡保存整備課程)
 1981年4月22日～5月2日(参加者16名)
- (2) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修
 (先縄文時代調査課程)
 1981年5月28日～6月6日(参加者13名)
- (3) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等一般研修
 (一般課程)
 1981年7月27日～8月29日(参加者22名)
- (4) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修
 (集落遺跡課程)
 1981年9月16日～9月26日(参加者33名)
- (5) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修
 (遺跡測量基礎課程)
 1981年10月12日～10月21日(参加者16名)
- (6) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修
 (遺跡測量応用課程)
 1981年10月22日～10月28日(参加者16名)
- (7) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修
 (環境考古課程)

1981年11月9日～11月21日(参加者15名)

- (8) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修
 (遺物保存科学課程)
 1981年12月3日～12月16日(参加者19名)
- (9) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等特別研修
 (埋蔵文化財基礎課程)
 1982年1月25日～1月29日(参加者33名)
- (10) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等特別研修
 (特別調査技術課程)
 1982年2月8日～2月10日(参加者24名)
- (11) 昭和56年度埋蔵文化財発掘技術者等専門研修
 (陶磁器調査課程)
 1982年2月24日～3月3日(参加者27名)
- (12) 研修員受入
 - ア. 山口 誠治(財団法人大阪文化財センター技師)
 - イ. 桜木 博文(三重県立神戸高等学校教諭)
 西森 平之(三重県上野市立西小学校教諭)
 1981年7月1日～9月30日
 久志本鉄也(三重県東員町立東員中学校教諭)
 1981年10月1日～12月28日
 本堂 弘之(三重県桑名市立大成小学校教諭)
 1981年11月1日～12月28日
 - ウ. 中川 正人((財)滋賀県文化財保護協会主任調査員)
 1981年7月1日～12月27日(週1回)
 - エ. Julie Dawson(イギリス)
 1981年11月1日～11月30日
 - オ. 蔡 泳権(大韓民国文化財管理局補修課建築技士)
 姜 大一(大韓民国文化財研究所保存科学研究室化工技士補)
 1981年12月1日～1982年11月30日
 - カ. 齊藤 弘道(茨城県立歴史館研究員)
 1981年12月17日～12月23日
 - キ. 李 相洙(大韓民国中央博物館保存技術室)
 1981年12月12日～1982年2月3日

発掘調査・整備等指導

(北海道) 余市町運上家庭園, 高砂遺跡, 静川遺跡, (青森) 弘前城跡三の丸庭園, (岩手) 志波

城跡, 毛越寺庭園, 黒沢尻柵跡, (福島) 慧日寺跡地内徳一廟, (茨城) 神野向遺跡, (栃木) 下野国府跡, 下野薬師寺跡, 飛山城跡, (群馬) 正観寺・日高両遺跡, 上越新幹線三ツ寺遺跡, (東京都) 前田耕地遺跡, (富山) 不動堂遺跡, (石川) 石動山, (福井) 朝倉氏遺跡, (山梨) 寺本廃寺跡, (長野) 森将軍塚古墳, 松本城二の丸書院跡, 大田原遺跡, 樋沢遺跡, 恒川遺跡, (静岡) 柑谷横穴郡, (愛知) 勝川廃寺跡, 尾張国府跡, (三重) 斎宮跡, 西明寺遺跡, (滋賀) 石山貝塚, (京都) 京北町周山瓦窯, 扇谷遺跡, 篠窠跡群, 車上り遺跡, (大阪) 津堂城山古墳, 大鳥塚古墳, 難波宮跡, (和歌山) 船岡山遺跡, 岩橋千塚古墳群, 野田藤並地区遺跡, (兵庫) 三ツ塚廃寺跡, 本町遺跡, 西条廃寺跡, 篠山城跡, 竜門寺遺跡, 志知川沖田南遺跡, 太子・竜野バイパス福田遺跡, 繁昌廃寺跡, 神出古窠址群, 野上野遺跡, (鳥取) 上原遺跡, 逢坂地域遺跡, (島根) 西川津遺跡, 天神原窠跡, 今市大念寺古墳, 広瀬町内遺跡群, (岡山) 美作国分尼寺跡, (広島) 寺町廃寺跡, 草戸千軒町遺跡, (山口) 大内氏遺跡, 周防国府跡, 綾羅木郷遺跡, (愛媛) 伊予国府跡, (福岡) 太宰府跡, 金隈遺跡, 海の中道公園遺跡, (佐賀) 丸山遺跡, 安永田遺跡, 肥前国府跡, 九州横断自動車道遺跡, (長崎) 中核工業団地遺跡, 金田城跡, 畑ノ原窠跡, (熊本) 松橋バイパス関係遺跡, (宮崎) 学園都市遺跡, 佐土原遺跡, 永山古墳, (沖縄) 今帰仁城跡, ピロースク遺跡, 崎樋川塚, 野国貝塚

埋蔵文化財ニュース刊行

- 第32号 埋蔵文化財関係報告書一覧
- 第33号 糸里・水田遺跡関係文献目録
- 第34号 行政データ・埋文関係記事掲載一覧
- 第35号 全国遺跡の実態
- 第36号 保存科学設備の現状

5 その他

委員会等

- 第8回飛鳥資料館運営協議会
1981年5月19日 於飛鳥資料館
- 平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会
1981年6月5日・6日 於平城資料館講堂
- 糸里制研究会(第1回)
1982年1月26日・27日 於平城資料館講堂

外国出張

坪井清足 裡里市円光大学主催第6回百済文化学会議出席及び百済遺跡視察のため大韓民国へ出張。

1981年5月7日～同年5月13日

沢田正昭 保存科学分野における技術交換のため大韓民国へ出張。

1981年6月22日～同年8月10日

安原啓示 文部省在外研究員として歴史的環境保全のためエジプト(アラブ共和国), チュニジア, ケニアへ出張。

1981年9月8日～同年11月7日

沢田正昭 第6回国際博物館会議保存委員会出席のためカナダへ出張。

1981年9月20日～同年9月27日

吉田靖 文部省在外研究員としてポリネシア, メラネシアの民家集落の系統的研究のためフィジー, 西サモア, 東サモア, 仏領ポリネシア, ハワイへ出張。

1982年3月15日～同年5月1日

協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており, 1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当しているが, 1981年度の状況は下記の通り。

区 分	面 積	購 入 額
1981年度	14,459.89m ²	293,261,492円
国有地合計	245,586.19	4,284,612,485

II 図書及び資料

図書 60,472冊

区 分	種 別	購 入	寄 贈	計
1981年	和 漢 書	1,728	3,202	4,930
	洋 書	195	48	243
累 計	和 漢 書	30,551	25,866	56,417
	洋 書	3,505	550	4,055

写真 223,087点 (1981年度末現在)

III 研究成果刊行物

1. 1981年度刊行物

名	称
学 報 第40冊	平城宮跡発掘調査報告XI
史 料 第22冊	七大寺巡礼私記
第23冊	東大寺文書目録 第4巻
図 録 第8冊	山田寺展
概 報 他	昭和55年度平城宮跡発掘調査概報 飛鳥・藤原宮発掘調査概報11 平城宮発掘調査出土木簡概報14

2. 前年度までの刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名	称
1954	第1冊	仏師運慶の研究
	第2冊	修学院離宮の復原的研究
1955	第3冊	文化史論叢
1956	第4冊	奈良時代僧房の研究
1957	第5冊	飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊	中世庭園文化史
	第7冊	興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊	文化史論叢II
	第9冊	川原寺発掘調査報告
1960	第10冊	平城宮跡・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
1961	第11冊	院家建築の研究
1962	第12冊	巧匠安阿弥陀仏伏慶
	第13冊	寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊	レースと金亀舎利塔に関する研究
	第15冊	平城宮発掘調査報告II 官衙地域の調査
1963	第16冊	平城宮発掘調査報告III 内裏地域の調査
1965	第17冊	平城宮発掘調査報告IV 官衙地域の調査
	第18冊	小堀遠州の作事
1967	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊	名物裂の成立
1971	第21冊	研究論集I
1973	第22冊	研究論集II
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告IV 平城京左京一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並調査報告一
1975	第25冊	平城京左京三条二坊
	第26冊	平城宮発掘調査報告VII
	第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告I
	第28冊	研究論集III
	第29冊	木曾奈良井一町並調査報告一
1976	第30冊	五条一町並調査の記録一
1977	第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告II
	第32冊	研究論集IV
	第33冊	イタリア中部の山岳集落における民家調査報告
	第34冊	平城宮発掘調査報告IX

1978	第35冊	研究論集V
	第36冊	平城宮整備調査報告I
1979	第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告III
	第38冊	研究論集VI
1980	第39冊	平城宮発掘調査報告X

奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集(複製)
1955	第2冊	西大寺敬尊伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊	平城宮木簡1 図版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編2
1969	第7冊	平城宮木簡1 解説(別冊)
1970	第7冊	唐招提寺史料1
1974	第8冊	平城宮木簡2 図版・解説
	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録I
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録II
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録III
1977	第12冊	藤原宮木簡I 図版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録IV
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録V
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録VI
	第17冊	平城宮木簡3 図版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 図版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録VII
	第21冊	東大寺文書目録第3巻

奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名	称
1973	第1冊	瓦編1 解説
1974	第2冊	瓦編2 解説
1975	第3冊	瓦編3
1976	第4冊	瓦編4
	第5冊	瓦編5
1978	第6冊	瓦編6
1979	第7冊	瓦編7
1980	第8冊	瓦編8

飛鳥資料館図録

年度	名	称
1976	第1冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊	日本古代の墓誌
1978	第4冊	日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊	古代の誕生仏
1979	第6冊	飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺—
1980	第7冊	日本古代の鷄尾

IV 定員

区分	指定職	行政(←)	行政(→)	研究職	計
1981年度	1	22	6	67	96
1982年度	1	22	6	66	95

V 予算 (1981年度)

人件費	418,367千円
運営費	613,109
事業管理	4,862
一般研究	57,225
特別研究	1,692
発掘調査	370,887
宮跡整備管理	50,254
飛鳥資料館運営	48,693
埋蔵文化財センター運営	42,519
新庁舎維持管理等経費	36,977
施設費	339,238
施設整備費	34,718
平城宮跡地等整備費	300,485
各所修繕	4,035
計	1,370,714

VI 施設

土地 32,501m² (当所所管)

本庁舎	8,860m ²	飛鳥資料館	17,092m ²
飛鳥資料館宿舍	1,343m ²	郡山宿舍	80m ²
春日野	5,126m ²		

1,261,301m² (文化庁所管)

平城宮跡地区	1,010,674m ²
藤原宮跡地区	245,586m ²
飛鳥稻淵宮跡地	5,041m ²

建物

区分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	春日野	計
	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
事務室	568	138	116	90		912
研究室	1,419	252	274	77		2,022
資料・図書室	1,021		36	36		1,093
会議室	338	64	53	42		497
講堂		384		89		473
展示室		576		648		1,224
写真室	79	256	61	64		460
覆屋・棟		1,686				1,686
車庫	84	200	204	94		582
倉庫・庫	123	4,945	1,829	480		7,377
研修棟	1,416					1,416
その他	1,745	2,131	251	1,062	1,079	6,268
計	6,793	10,632	2,824	2,682	1,079	24,010

重要文化財旧米谷家住宅					213
郡山宿舍(1), (2)					153
飛鳥資料館宿舍					225
合計					24,601

主要工事

(1) 施設整備費	千円
飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺物倉庫新営工事	5,000
飛鳥資料館環境整備工事	1,500
庁舎周辺整備工事	1,603
飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺物整理室改修工事	3,100
(建設省近畿地建地方建設局委任工事分)	
奈良国立文化財研究所整備工事	20,580
(2) 平城宮跡地等整備費	
平城宮跡地環境整備工事	73,800
藤原宮跡地環境整備工事	21,900
平城宮跡資料館改修工事	41,170
平城宮跡資料館周辺整備工事	8,557
特別史跡平城宮跡地形調査工事	3,600
(3) 各所修繕	
平城宮跡資料館サッシュ等塗装工事	810
平城宮跡資料館冷却塔取換工事	1,590
(4) 試験研究費	
飛鳥藤原宮跡発掘調査部事務棟等改修工事	8,000

VII 人事異動

(1981年4月1日～1982年3月31日)

4月1日	埋蔵文化財センター長に昇任	田中 琢
	埋蔵文化センター研究指導部長に昇任	佐原 真
	埋蔵文化財センター遺物処理研究室長に昇任	沢田 正昭
	庶務部会計課長に昇任	笹山 保美
	奈良国立博物館管理課長に昇任	金塚 勇
	庶務部庶務課課長補佐に昇任	織田 健蔵
	京都国立博物館管理課長補佐に転任	萩原 陽雄

埋蔵文化財センター情報資料室に転任
 中川 隆
 埋蔵文化財センター研究指導部集落遺跡研究室長に配置換 町田 章
 飛鳥藤原宮跡発掘調査部考古第一調査室に配置換 岩本 圭輔
 飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺構調査室に配置換 川越 俊一
 岩本 正二
 小林 謙一
 飛鳥藤原宮跡発掘調査部史料調査室に配置換 岡本 東三
 埋蔵文化財センター研究指導部考古計画研究室に配置換 山中 敏史
 平城宮跡発掘調査部考古第一調査室に採用 杉山 洋
 平城宮跡発掘調査部考古第三調査室に採用 岩永 省三
 5月1日 飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺構調査室に配置換 大脇 潔
 飛鳥資料館学芸室に配置換 小林 謙一
 6月1日 平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 金子 裕之
 7月1日 平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 綾村 宏
 飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 今泉 隆雄
 川越 俊一
 岡本 東三
 8月1日 庶務会計課経理係長に昇任 林 勝彦
 佐賀医科大学業務部施設課整備係長に転任 冬野 徹
 9月30日 辞職 太田 博子
 12月1日 埋蔵文化財センター教室室長に昇任 若井 明
 文化庁文化部芸術課専門員に転任 織井 弘一
 12月16日 飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に転任 村上 詔一
 3月30日 辞職 綾村 幸子

Ⅷ 組織規定

文部省設置法 抜萃

昭和24年法律第146号
 昭和43年6月15日一部改正

第36条 第43条に規定するもののほか、文化庁に次の機関を置く。

国立文化財研究所（前後略）

第41条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

- 2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。
- 3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は、文部省令で定める。

文部省設置法施行規則 抜萃

昭和28年1月13日文部省令第2号、追加昭和43年6月15日文部省令第20号、昭和45年4月17日文部省令第11号、昭和48年4月12日文部省令第6号、昭和49年4月11日文部省令第10号、昭和50年4月2日文部省令第13号、昭和51年5月10日文部省令第16号、昭和52年4月18日文部省令第10号、昭和53年4月5日文部省令第19号、昭和53年9月9日文部省令第33号、昭和53年4月5日文部省令第14号、昭和55年6月25日文部省令第23号

第5章 文化庁の附属機関

第4節 国立文化財研究所

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東京都台東区
奈良国立文化財研究所	奈良県奈良市

第2款 奈良国立文化財研究所

(所長)
 第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は所務を掌理する。

(内部組織)

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

(庶務部の分課及び事務)

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

- 一 庶務課

二 会計課

- 2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。
 - 一 職員の人事に関する事務を処理すること。
 - 二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。
 - 三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。
 - 四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。
 - 五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。
 - 六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。
- 3 会計課においては、次の事務をつかさどる。
 - 一 予算に関する事務を処理すること。
 - 二 経費及び収入の決算その他会計に関する事務を処理すること。
 - 三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。
 - 四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。
 - 五 庁内の取締りに関すること。

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

- 2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

- 第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。
- 2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第六項までに定める事務を処理するほかその発掘を行う。
 - 3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
 - 4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
 - 5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれ

らの結果の公表を行う。

- 6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

- 2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第五項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。
- 3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

- 2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。
- 3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。
 - 一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。
 - 二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料

の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。

三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。

二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。

三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。

四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の五室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するものを除く)をつかさどる。

3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く)をつかさどる。

4 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

5 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

6 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

奈良国立文化財研究所略年表

- 昭和26.10.6 奈良文化財研究所設置準備規程(文化財保護委員会裁定第11号)により設置準備会発足。
- 27.4.1 文化財保護委員会の附属機関として奈良文化財研究所設置。
- 29.7.1 奈良国立文化財研究所と改称。
- 35.10.15 平城宮跡に発掘調査事務所設置。
- 38.4.10 平城宮跡発掘調査部が設けられる。
- 43.6.15 文化庁発足、その附属機関となる。
- 45.4.15 平城宮跡資料館開館。
- 48.4.12 会計課、飛鳥藤原宮跡発掘調査部、飛鳥資料館設置。
- 49.4.11 庶務部、埋蔵文化財センター設置。
- 50.3.15 飛鳥資料館開館。
- 55.4.5 美術工芸研究室を奈良国立博物館(仏教美術資料研究センター)に移管。
- 55.4.26 庁舎移転(奈良市二条町)、併せて平城宮跡発掘調査部、埋蔵文化財センターを庁舎に統合。

職員

(1982年6月1日現在)

所属	氏名	官職	担当
	坪井 清足	文部技官 所長	
庶務課	森 春見		
	三森 武雄	文部事務官 課長	平城事務
	織田 健蔵	文部事務官 課長補佐	
	日高 参夫	文部事務官 専門係	
	藤原 賢二	文部事務官 警務員	庶務人
	西 徹	文部事務官 警務員	備備
	木寅 忠雄	文部事務官 警務員	備備
	森田 光治	文部事務官 警務員	備備
	岡田 博无	文部事務官 警務員	備備
	八幡 抹桑	文部技官 専門職員	真事
	戸 雅子	文部技官 専門職員	務務
	港 悦子	事務補佐員	庶務
村田 忠子	事務補佐員	庶務	
宮本 宣代	事務補佐員	庶務	
中川 かよ	事務補佐員	庶務	
中垣 睦美	事務補佐員	庶務	
城本 きよの	事務補佐員	庶務	
庶務課	笹山 保美	文部事務官 課長	藤原事務
	廣澤 郁夫	文部事務官 課長補佐	備備
	福島 健三	文部事務官 専門係	管理
	西田 康彦	文部技官 専門係	
	渡辺 勝彦	文部事務官 経理	経理
	林 利二	文部事務官 経理	経理
	前川 重子	事務補佐員	経理
	橋本 伴子	事務補佐員	経理
	菊本 洋子	事務補佐員	経理
	新井 耕治	文部事務官 経理	経理
	刀谷 敏博	文部事務官 経理	経理
	中西 建夫	文部技官 経理	経理
垣内 きよえ	事務補佐員	経理	
下出 永子	事務補佐員	経理	
渡辺 康史	文部技官 施設整備	施設整備	
吉村 義徳	文部技官 施設管理	施設管理	
大西 和子	事務補佐員	施設管理	
建造物研究室	吉田 靖雄	文部技官 室長	建築
	亀井 伸一	文部技官 (併任)	建築
	清水 真彦	文部技官 (併任)	建築
	加藤 邦一	文部技官 (併任)	建築
	上野 敏男	文部技官 (非常勤)	建築
歴史研究室	坪井 清足	文部技官 室長(取扱)	考古
	山中 敏史	文部技官 (併任)	考古
	清田 善樹	文部技官 (併任)	歴史
	佐藤 信道	文部技官 (併任)	歴史
	千田 剛道	文部技官 (併任)	考古

所属	氏名	官職	担当	
平城	岡田 英男	文部技官 部長		
	考古第一調査室	工藤 善通	文部技官 室長	考古
		松村 洋	文部技官 (併任)	考古
		杉山 章	文部技官 (併任)	考古
		松井 裕之	文部技官 (併任)	考古
		金子 栢桑	文部技官 (併任)	考古
		八幡 幹雄	文部技官 (併任)	考古
		佃 千賀	文部技官 (併任)	考古
		池田 千恵子	文部技官 (併任)	考古
		吉村 千恵子	文部技官 (併任)	考古
		石川 千恵子	文部技官 (併任)	考古
	考古第二調査室	森 郁夫	文部技官 室長	考古
千田 剛道		文部技官 (併任)	考古	
巽 淳一郎		文部技官 (併任)	考古	
立木 修海		文部技官 (併任)	考古	
跡	山本 忠高	文部技官 室長	考古	
	毛利 俊彦	文部技官 (併任)	考古	
	岩永 省三	文部技官 (併任)	考古	
	深澤 芳樹	文部技官 (併任)	考古	
発掘	宮本 長二郎	文部技官 室長	建築	
	鬼岸 伸雄	文部技官 (併任)	建築	
	山岸 常人	文部技官 (併任)	建築	
	上野 邦一	文部技官 (併任)	建築	
調査	田中 哲雄	文部技官 室長	遺跡	
	加藤 允彦	文部技官 (非常勤)	遺跡	
	本内 昭人	文部技官 (非常勤)	遺跡	
	森 真織	文部技官 (非常勤)	遺跡	
調査	鬼頭 清明	文部技官 室長	歴史	
	佐藤 信樹	文部技官 (併任)	歴史	
	清田 善樹	文部技官 (併任)	歴史	
	今泉 隆雄	文部技官 (併任)	歴史	
部	上野 邦一	文部技官 主任研究官	建築	
	金子 裕之	文部技官 主任研究官	考古	
	西 隆雄	文部技官 主任研究官	歴史	
	今泉 隆雄	文部事務官 (兼任)	歴史	
	木寅 忠雄	文部事務官 (兼任)	備備	

所属	氏名	官職	担当
飛鳥藤原宮跡苑掘調査部	狩野久	文部技官部長	
	佐藤興治	文部技官室長	考古古真築
	藤本肥直	文部技官室長	考古古真築
	土井直	文部技官室長	考古古真築
	村上上	文部技官室長	考古古真築
	木下正史	文部技官室長	考古古真築
	西口清水	文部技官室長	考古古真築
	清水原	文部技官室長	考古古真築
	細見啓三	文部技官室長	考古古真築
	大岩本越	文部技官室長	考古古真築
	加藤優太郎	文部技官室長	考古古真築
	安井和正	文部技官室長	考古古真築
	菅原	文部技官室長	考古古真築
	村上明一	文部技官室長	考古古真築
	西田健三	文部技官室長	考古古真築
飯田信幸	文部技官室長	考古古真築	
谷垣耕正	文部技官室長	考古古真築	
望月治子	文部技官室長	考古古真築	
高川正二	文部技官室長	考古古真築	
林達志	文部技官室長	考古古真築	
藤田志幸	文部技官室長	考古古真築	
坪井清足	文部技官室長(取扱)		
中尾重徳	文部技官室長	事務事務	
外嶋信三	文部技官室長	事務事務	
飯田三徳	文部技官室長	事務事務	
米村義照	文部技官室長	事務事務	
吉本春雄	文部技官室長	事務事務	
藤本本	文部技官室長	事務事務	
乾本	文部技官室長	事務事務	
福井敏	文部技官室長	事務事務	

所属	氏名	官職	担当
飛鳥資料館	猪熊林村	文部技官室長	考古古通築古
	藤澤謙一	文部技官室長	考古古通築古
	志自	文部技官室長	考古古通築古
	大塚	文部技官室長	考古古通築古
	田中琢	文部技官室長	考古古通築古
	若井明	文部技官室長	考古古通築古
	小林雅	文部技官室長	考古古通築古
	竹島弘	文部技官室長	考古古通築古
	佐原真	文部技官室長	考古古通築古
	松沢並生	文部技官室長	考古古通築古
	山中敏史	文部技官室長	考古古通築古
	町田章	文部技官室長	考古古通築古
	崎信二	文部技官室長	考古古通築古
	沢田正昭	文部技官室長	考古古通築古
	秋山隆保	文部技官室長	考古古通築古
木全敬蔵	文部技官室長	考古古通築古	
伊藤修	文部技官室長	考古古通築古	
西村太	文部技官室長	考古古通築古	
安原啓示	文部技官室長	考古古通築古	
光谷拓実	文部技官室長	考古古通築古	
伊東太	文部技官室長	考古古通築古	
西村康	文部技官室長	考古古通築古	
杉田繁	文部技官室長	考古古通築古	
栗田靖之	文部技官室長	考古古通築古	
岩本次郎	文部技官室長	考古古通築古	
中川隆	文部技官室長	考古古通築古	

機構

